正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校

「たい」のあふれる時津小

↑こちらからも↑

令和６年　３月　１日（金）　発行人：校長　森内　秀学

「ありがとう」ってどんな顔～６年生を送る会～

「ありがとう」と言っている子どもと言われている子ども。どんな顔をしているのか想像できますか？

２月 22 日（金）は、６年生を送る会を行いました。時小発表会は保護者用の観覧スペースの関係もあり、発表の様子を全校児童がお互いに見ることはできませんでした。

しかし、今回は、６年生に贈る全学年の出し物を、全学年で見合うことができました。

その時の顔が、これです。とってもいい顔でしょう。みんな、こんな顔でした。

下級生から何回も繰り返される「ありがとう」の言葉。それに照れくささを感じながらも、自分を振り返り、「こちらこそありがとう」って思っている…。穏やかで柔らかく、優しいこの顔は、まさに、「ありがとうの顔」ではないかなと思います。

卒業まで、あと 12 日。新しい「ありがとう」の顔は、次の６年生が創り上げていきます。

工夫を共有する～給食編～

右の写真をご覧ください。給食室の窓ガラスに、たくさんのポスターが貼られています。何のポスターかというと、「給食委員会が見つけた『完食』のコツ」。「食べるのが遅い子を先に食べさせる」、「みんなが食べきれないときは先生が食べる」など、工夫が盛りだくさんです。子どもはこうして苦手なものも少しずつ食べられるようになっていきます。